

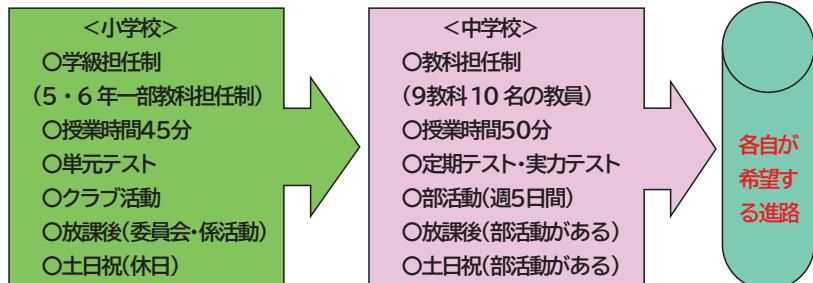
書あり 師あり 友ありて



小中一貫教育を意識した保幼小中連携について ～ 大蔵中学校区ではさまざまな取り組みをしています～

学校長 平田 高之

明石市においては、小学校から中学校に進学する際に、小中学校のさまざまな違いによる、いわゆる「中1ギャップ」の緩和を図るために、平成20年度より「校區UNIT会議」を設置し、各中学校区において、小中間での情報交換、出前授業、合同研修等、学校種間の連携を図ってきました。



本中学校区においては、人丸・中崎小学校だけでなく、人丸・播磨幼稚園、明南保育所も含めて「大蔵中学校区6校園長会」を毎月開催し、各学校園所の行事だけでなく、研究や子どもたちの様子等について情報交換を行い連携しています。

また、「チーム大蔵中学校区ユニット会議」を設置し、共通した目標のもと、校園所長、担当者だけでなく、みんなが参加する取り組みを行っています。

○目的:子どもたちの学びと育ちを連続させるために、長期的なスパンでの取り組み

支援を考える

○小中一貫教育目標:自ら学び、考えを伝え、深め合う児童生徒の育成

○目指す子ども像:

学び(学力面)自ら進んで友だちと意見を交換し合い、共に高め合える子ども

育ち(生活面)積極的に友だちとかかわり、共に伸びようとする子ども

全体会を年間3回開催し、8つの研究グループ（「言語活動・国語活動」「実技・技能」「英語教育」「算数・数学」「道徳教育」「特別支援」「自治活動」「生活指導」）に分かれ、目標を達成するためどのような取組をするのか、幼稚園・小学校・中学校の教員が一緒に話し合いをし、その内容について共有したうえで、今後の指導に活かしていくこうとしています。

さらに、各学校の研究授業等を相互参観しています。本校で行った英語科の研究授業にも、小学校の先生方に来て頂きました。また、1学期には、2年生がトライヤー・ウィークで、2学期には、3年生が保育実習で、各学校園所にお世話になっています。また、生徒会と児童会が連携した合同あいさつ運動も各小学校で実施しています。



先日、来年度の新入生となる人丸・中崎小学校6年生を対象に、矢野が理科の出前授業を、生徒指導担当越智が中学校生活について、学習担当若畠が中学校での学習面について出前講座をしたのも小中連携の一環です。今後も大蔵中学校区が一つになり、保幼小中が連携して、地域の子どもたちを育成してきたいと考えています。



本校生が「明石市スポーツ賞」を受賞しました

1月18日（土）に、明石市立市民会館中ホールにおいて、「2019年度明石市スポーツ賞受賞者表彰式」が行われました。本校からは、近畿総合体育大会での優秀な成績が認められ、下記の9名が「優秀選手賞」を受賞しました。市全体で受賞した中学生は5校・54名で、そのうち9名が本校生ということは、大蔵中学校としても大変誇らしいことです。本当におめでとうございました。

また、本校の先輩でもある明石商業高等学校古林 愛理さんも、全国高等学校総合体育大会陸上競技女子棒高跳第1位が認められ、同じく「優秀選手賞」を受賞されました。彼女はまだ2年生での日本一で、今年の目標は高校日本記録だそうです！是非今後の活躍にも注目しておいて下さい。

なお、本校教員の今井も「勲功賞」を頂きました。

○近畿中学校総合体育大会水泳競技女子800m自由形第1位 □□□□

○ 同 硬式テニス競技シングルス第3位 □□□□

○ 同 剣道競技男子団体第3位

□□□□□・□□□□□・□□□□□・□□□□□・□□□□□・□□□□□・□□□□□

